

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.27 (1995) No.4

Engineering Technologies for Steel Structure Applied to Trans-Tokyo Bay Highway
Project

(Kenshi Furumuro)

(Takashi Kobayashi)

(Kyotaro

Kanda)

:

Engineering Technologies for Steel Structure
Applied to Trans-Tokyo Bay Highway Project

要旨

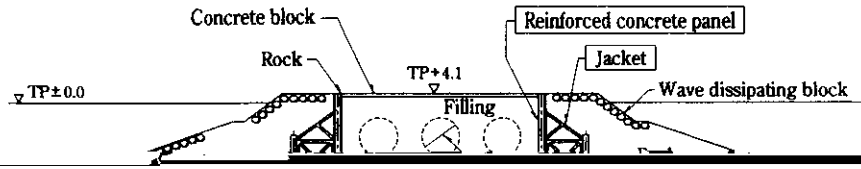
Tokyo Bay
Ring Road

Kawasaki
Masuda

Kisarazu
Masuda

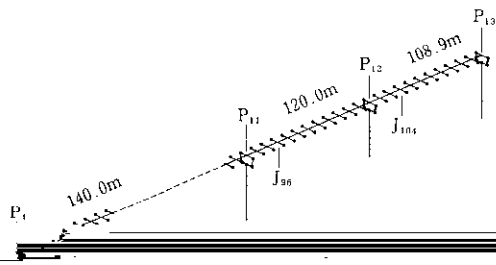
Tokyo Bay
Ring Road







工事では特に緩衝工との取合い部となる1F柱格点部下面のレベル、水平位置および柱の倒れに留意し、溶接歪等の管理を行うことにより出来形基準を満足させた。また、溶接継手部の品質基準は、本構台が仮設構造物であり耐用年数が3年と短期間であるため、各継手部継手の歪み率に留意して管理に努めた。



4.2.2 製作・輸送

上部工の鋼床版箱桁橋は Fig. 6 に示すとおり、桁高最大 10.5 m、幅 22.9 m と大断面で 1 ブロック当たりの重量も大きい。また、小ブロック同士の組立（大ブロック組立）は桁外面はヤード溶接、内面は HTB 継手としたため、製作に当たっては従来以上の高いレベルの品質管理を行った。工場製作は工期の関係から播磨・千葉の両工場 で 1 ブロックずつ行った。両工場とも、工場内でのクレ

17,000
5,250
3.0m

